

研究課題名	アベマシクリブ投与開始後における BUN/Cr 比の変化
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	<p>アベマシクリブは乳癌治療において広く使用されている一方で、投与後に血清クレアチニンという腎機能の指標が上昇することがあります。この変化が実際の腎機能低下を意味するのかどうかは、臨床現場で判断に迷うことがあります。本研究では、血中尿素窒素（BUN）とクレアチニンの比（BUN/Cr 比）に注目し、日常診療で測定されている検査値を用いて、腎機能評価の参考となる情報を得ることを目的としています。</p> <p>本研究は、乳癌に対して使用される薬剤であるアベマシクリブの投与後に認められる血液検査値の変化について、日常診療で得られた診療情報を用いて解析することを目的とした観察研究です。本研究では、新たな検査や治療を行うことはなく、通常診療の過程で得られた情報のみを使用します。得られた情報は匿名化したうえで解析を行い、個人が特定されることはありません。</p>
研究対象者	2019 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に、当院において乳癌治療のためにアベマシクリブを投与された患者
利用又は提供する試料・情報の項目	<p>診療の過程で得られた以下の情報を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、性別、体重</li> <li>・診断内容および治療区分</li> <li>・血液検査結果（BUN、クレアチニンなど）</li> <li>・治療開始日および治療経過</li> </ul>
研究予定期間	機関の長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られた診療情報を用います。
試料・情報を利用する者の範囲	本研究は当院のみで実施します。
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又は機関の名称	泉大津急性期メディカルセンター 薬剤部 氏名：小泉祐一
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	泉大津急性期メディカルセンター 薬剤部 氏名：小泉祐一 〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子 97 番 1 TEL：0570-02-1199